

保健医療課

受けよう検診、忘れないで自己検診！
ピンクリボン講演会



終始笑顔で講演する中川さん

「乳がん患者友の会「きらら」代表の中川圭さんが、「明日はきっといい日」と私とあなたの大切な人の命を守るために」と題して講演。中川さんは自ら乳がんを患った経験を踏まえながら、「早期発見・早期治療の大切さ」「自己検診の重要性」を強調。来場した62人は、終始笑顔で前向きに語る中川さんの話に引き込まれていました。

乳がんの予防と検診を呼びかける「ピンクリボン講演会」を3月12日、庄原市保健センターで開催しました。



真剣に耳を傾ける参加者

農業振興課

楽しく食文化を継承する
漬物伝承講座

「食農ネットワーク庄原」が主催する第2回「漬物伝承講座」が2月18日、食彩館しよばらゆめさくらで開催され、市内各地域から27人が参加しました。

今回の、漬物を応用した創作料理や庄原産農産物を使った郷土料理の調理実習を中心に、会員である料理家の大谷朱美さん（暮らしのアトリエ・東本町）から「キムチを使ったアイデア料理」や、「木加工グループ代表の吉光典子さん（二木町）から「そばがきづくり」を学びました。



大谷さんがアイデア料理を実演

参加者からは「楽しみながら調理実習ができた」「知らない方とふれあえた」「身近な食材で珍しいアイデア料理を作ることができた」など。

西城支所

地元の食資源をまちの元気づくりに
農産物加工研修会を開催

西城支所と西城自治振興区は3月9日、『6次産業化セミナー・売れる加工品と加工所の元気づくりのイロハ』と題して、農産物加工研修会を行いました。

商品化に取り組んでいる大佐加工所の黒田令子さんは「ネギ味噌を、西城ならではのギフトとして本格的に売り出すには、学ぶことがたくさんある。具体的な話が聞けて参考になった」と話していました。

この研修会は、地元の食資源をまちの元気づくりにつなげたいという地域からの声にこたえて、西城地域におけるクラスターのまち実現プロジェクトと生涯学習、二つの事業が連携し、広島県農林振興センターの協力を得て開催したものです。



講演の様子

高野支所

58年の長い歴史に幕
庄原市立下高保育所が閉所

本格的な春の訪れを感じる3月16日、下高保育所の閉所式が行われました。

下高保育所は昭和30年に地元運営の幼稚園として開設され、昭和36年に下高野山へき地保育所、昭和52年には国の認可を得て現在の下高保育所となり、地域の児童保育の拠点として58年間運営されてきました。

しかし、過疎化・少子化による児童数の減少が著しいことから、町内の私立新市保育所と統合することが決まり、長い歴史に幕を下ろすこととなりました。



「ありがとう」の気持ち込め歌う園児たち



閉所を惜しむ参加者